

2018.5. 2 <計2枚>

長岡京市政記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

～SDGs 達成に向けて総勢 91 名の大学生と高校生が未来を描く～
日本の若者が持続可能な社会の実現に向けて何ができるのか
「立命館地球市民会議」開催

立命館大学 Sustainable Week2018 実行委員会(以下、SW2018 実行委員会)は、「持続可能な開発目標(以下、SDGs)」について実際に活動を行っている大学生が高校生へ取り組みを伝え、高校生がこれからの主体的な学びを考える「立命館地球市民会議」を立命館中学校・高等学校で 5 月 11 日(金)に開催いたします。

SW2018 実行委員会は、SDGs について本学の学生団体や研究室などを連携させることによって、学生主体で SDGs の達成に向けた取り組みを行っている団体です。昨年 10 月に開催した日本初となる学生主催の SDGs 体験型イベント「Sustainable Week」には、学内外から約 2,300 名の来場者が訪れました。

立命館高校は、文部科学省の「平成 26 年度スーパーグローバルハイスクール(SGH)事業」に指定され、将来国際的に活躍するグローバルリーダーの育成に取り組んでおり、SDGs に関する学習にも積極的に取り組んでいます。

今回、高校生は、SDGs 達成に向けた活動にローカルとグローバルな視点で取り組む大学生の「生」の話を聞くことで、SDGs についての理解を深めます。具体的には、特定非営利活動法人グローバルな学びのコミュニティ・留学フェローシップ(※1)に所属するハーバード大学生から、高校生に向けて海外大学で得た知見をもとにグローバルな視点から SDGs に対する取り組みを紹介して頂きます。また、キャンパス周辺を拠点にローカルな視点で活動している SW2018 実行委員会の学生が講師およびファシリテーターとなり、高校生の SDGs についての理解促進を進めていきます。大学生の発表や座談会を通じて高校生が SDGs を主体的に考え、自分たちが実践できる社会課題の解決について考えるきっかけになることを期待しています。

記

日時:2018 年 5 月 11 日(金) 9:50～11:40

場所:立命館中学校・高等学校 〒617-8577 京都府長岡京市調子一丁目 1-1

参加者:91 名(立命館大学生 10 名、立命館高校生 80 名、ハーバード大学生 1 名)

協力団体:特定非営利活動法人 グローバルな学びのコミュニティ・留学フェローシップ

内容:Sustainable Week2018 実行委員会の活動紹介、SDGs に関する座談会

※ご取材いただける場合は、前日までに下記までご連絡をお願い致します。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先
立命館大学広報課 担当:名和
TEL. 075-813-8300

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと
それが立命館のアイデンティティー
Beyond Borders

別紙

<当日スケジュール>

- 9:50～10:40 ・立命館大学 Sustainable Week2018 実行委員会の活動紹介
- ・活動プレゼン(立命館大学生 1 名、ハーバード大学生 1 名)
 - ・立命館大学の学生の正課外の活動支援に関する説明
(立命館大学成長支援型奨学金・助成金制度紹介)
 - ・立命館地球市民会議の内容に関する説明
- 10:50～11:40 立命館地球市民会議
(立命館大学生 9 名、ハーバード大学生 1 名と高校生の SDGs 座談会)

<SDGs について>

SDGs とは、貧困や飢餓を撲滅するために策定された「ミレニアム開発目標 (MDGs)」の後継で、2015 年 9 月の国連総会で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の一部に当たります。

(※1) 特定非営利活動法人グローバルな学びのコミュニティ・留学フェロースhip

海外大学に留学している現役学生および学びのグローバル化を推進する高校・大学の教員から構成された NPO 法人。海外進学を切り口に主体的な進路選択のあり方を全国に発信し、主に中高生を対象とした海外進学支援・キャリア学習支援を実施している。同時に国内で主体的な学びの場を創造することを目指し、世界に通ずる学びを公教育の中で提供できるような授業づくりにも全国の教員とともに取り組む。

HP:<http://ryu-fellow.org/>